

# 大御所最終戦

有度山ロゲイニング大会 2016年1月31日 静岡県静岡市

徳川家康没後 400 年。これにちなんだイベントが各所で行われた。JOA 大御所シリーズもその動きの一つ。

2016年1月31日(日) 静岡県静岡市  
有度山ロゲイニング大会

男子組 5 時間

- 1 A チーム 2016 1188 点
- 2 池田と白鳥 978 点
- 3 マツパ 972 点

女子組 5 時間

- 1 おでんだ! チョコっち 724 点
- 2 TEAM&Club 阿闍梨 W 692 点
- 3 チーム TK 645 点

混合組 5 時間

- 1 チーム遠足 1038 点
- 2 TNF 仙台 1036 点
- 3 ちーむとりけも 929 点

家族組 5 時間

- 1 トータス親子 842 点
- 2 ハムちゃん 755 点
- 3 Team Heart Golds 731 点

3時間チーム

- 1 Team Lazy 478 点
- 2 絆走友会 451 点
- 3 TIVAくん 448 点

3時間ソロ男子

- 1 オレンジトレイル戦闘員 626 点
- 2 湯浅進午 565 点
- 3 エクストラ 559 点

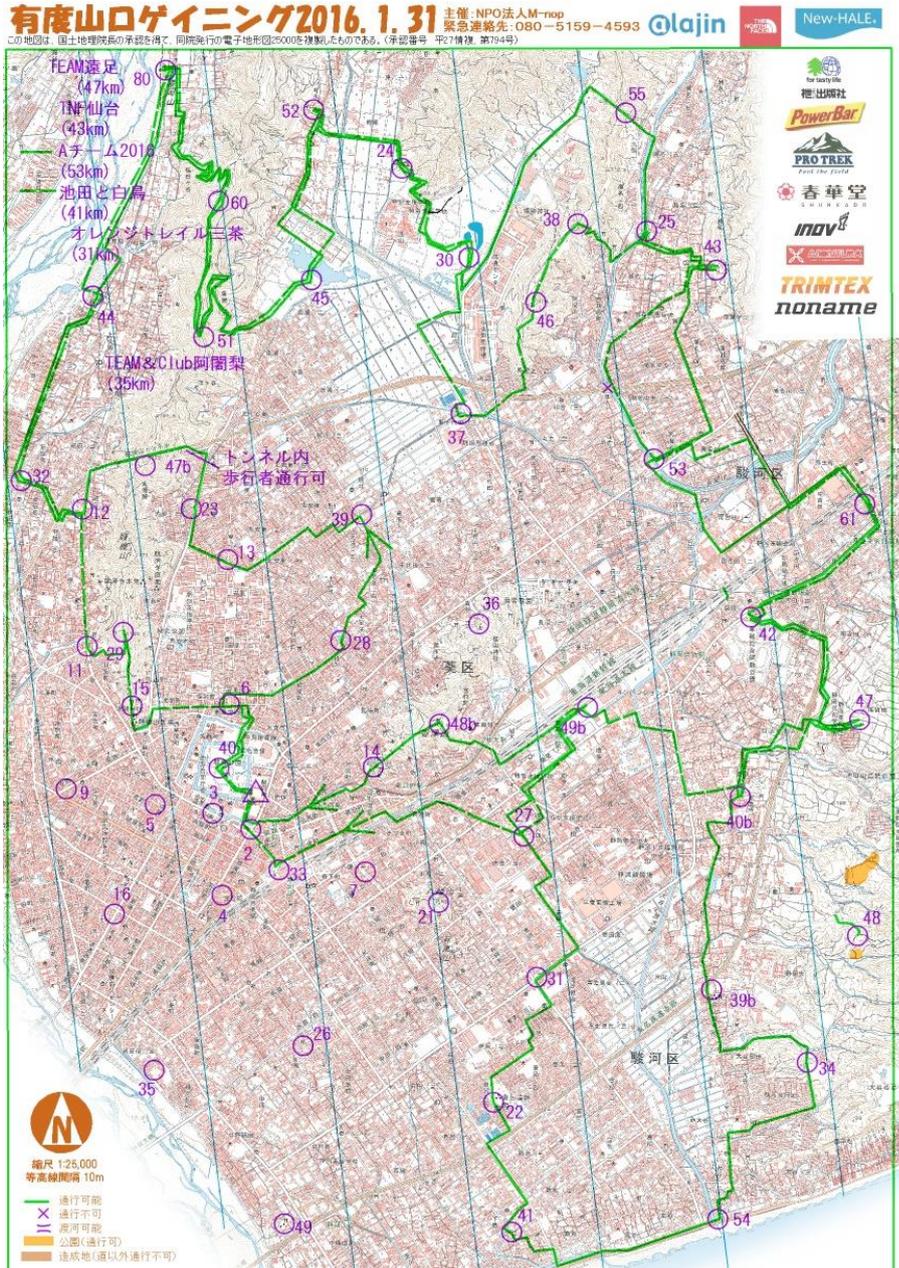
3時間ソロ女子

- 1 上松典子 355 点
- 2 鈴木かおり 328 点
- 3 チームσ 327 点

## 大人気の有度山

有度山という場所をご存じだろうか? 地元静岡市民ですら限られた人しか知らない。しかし、近年になって「日本平」という名称が定着するまでは、有度山というのがこの丘陵の名前だった。現在でも地図にその名称を見ることができ、日本平山地の最高点がこの有度山となっている。本ロゲイニングはこの有度山丘陵を主な舞台とするロゲイニング大会で、2009年より開催されている。

1月末という他のイベントのほとんどない時期の開催が幸いして、有度山ロゲイニングは、ここ数年は常に400人を超える参加者を得ている。今年はエントリー数で約500人、当日参加数で469人。数多く行われるロゲイニング大会の中でも最大規模のイベントだ。



男子上位チームのルート。点の低い南西部を避けると同時に、後半になっても果敢に外側へ展開することが高得点の秘訣のようだ。柳下は「わざわざ『トンネル内歩行者通行可』と書いてあるのだから、その意図を組んで23から12に展開した」と語った

## 「大御所シリーズ」の最終戦

今年2016年は徳川家康が逝去して400周年に当たる。今年のイベントはそれに因んだ旧跡の多い静岡市中心部を舞台にして行われた。会場は、中心部の駿府城跡にある静岡大学教育学部附属静岡小学校。JR静岡駅から徒歩圏内である。こうしたアクセスの良さも参加者数が伸びた理由だろう。

本大会は、家康没後400年に因んだJOA主催のロゲイニング大御所シリーズの最終戦でもある。生誕の地岡崎でスタートし、浜松、東京、日光と行われた大御所シリーズの最終戦が、家康終焉の地駿府を舞台とする有度山ロゲイニングとなった。

駿府に隠居後の家康は、今でいう健康オタク。また鷹狩りが好きだったと



本誌「top of orienteering」を連載する小泉成行さんは、家族と初のロゲイニング。  
娘さん鈴さんを担いでの参加だ

いうが、鷹狩りによって地勢を把握し、足腰を鍛えることは武士のたしなみであったとしても、鷹狩りの銅像が残るくらいであるから、相当のアウトドア好き、世が世ならロゲイニングにも親しんでいたに違いない。

有度山ロゲイニングでは家康に因んだポイントはもちろんのこと、それ以前の今川時代に遡る旧跡、あるいはこうした歴史の舞台となった自然環境など、多彩なポイントと、練りに練ったポイント配置と得点が参加者を悩ませたようだ。男子の優勝チームである柳下組の「いやあ、難しかったです。(周り方が)合っているかどうか分かりません」というゴール後のコメントが、

コース設定者にとっては最大のご褒美である。

柳下・市岡のAチームは圧勝。女子のおでんだ！チョコっちは2連覇、チーム遠足はトレランで活躍する山ノ内はるかさん擁するTNF仙台を僅差で破り、トータス親子は宿敵ハムちゃんを下しての優勝だ。

共催の静岡オリエンテーリングクラブの主力メンバーで3年前の2013年2月の登山遭難で還らぬ人となった堀本夫妻に因んだ堀本杯は、混合の最上位となったチーム遠足(とおあし)(渡辺達也・大澤貴子)に贈られた。

(村越 真)



鷹狩りが好きだった家康は、さしづめアウトドアフリーク。現代に生きていれば、きっとロゲイニングやオリエンテーリングを愛したことだろう。



混合で熾烈な優勝争いを演じたTNF仙台の「男沢・山ノ内」組。短パンに気合いが感じられる



古代東海道の跡にて。  
こうしたささやかな史跡を再発見できるのも、ロゲイニングの人気の一つ



女子2位となった TEAM&Club 阿闍梨の田島(右)と手塚(左)が、スタート前に作戦を検討